

高松南高校PTAだより

編集・発行 県立高松南高校PTA 第55号

ごあいさつ

PTA会長 菊川 安史



冬の寒さも和らぎ、暖かな春の訪れを感じられる季節となりました。この佳き日に、それぞれの新たな道に向かって本校を旅立つ卒業生・修了生の皆様には心よりお祝い申し上げます。学校生活で得た様々な経験を糧に、新たな目標に向かって全力で挑戦して欲しいと思います。

先日、昭和の暮らしをテーマにしたテレビ番組がありました。私も家には黒電話があり、レコード盤を回して音楽を聴いた世代です。液晶ゲームウォッチからファミコンに、カセットテープからCDに、ポケットベルから携帯電話へと当時もそれなりにいろいろな物が進化しましたが、まさか30年後がスマホ中心のデジタルな生活スタイルになっているとは想像もできませんでした。有人ドローンにメタ버스、技術の進歩は止まりません。Z世代の30年後はどのような暮らしが待っているのでしょうか…。

2023年も社会や経済にさまざまな変化が起こり、これまでの常識が通らない非常に不安定な状況が続きそうです。目の前の生活に漠然とした不安がつきまといますが、困難な時代を夢に向かって生き抜く子どもたちにエールを送り、全力でサポートしていくことが親の使命だと思います。お互いに頑張りましょう。

最後になりましたが、吉田校長先生をはじめ教職員の皆様には子どもたちを献身的にご指導いただきましたこと心よりお礼申し上げます。保護者の皆様には今年度のPTA活動へのご協力有難うございました。来年度も更なるご支援を賜りますよう宜しくお願いいたします。

ごあいさつ

校長 吉田 稔



令和4年度もあと僅かになりました。保護者の皆さまには、この1年間、本校の教育活動へのご協力に対し感謝申し上げます。また、本日の卒業式・修了式を無事終了できましたこと、卒業生・修了生を見守ってこられた皆さまには心よりお祝い申し上げます。

本年度本校に赴任し学校運営をしてきましたが、アッという間に1年が過ぎたように思います。歳をとるにつれて時間が早く過ぎるとよく言われますが、ジャンネの法則というものがあるようで「人が感じる時間の長さはその人の年齢の逆数に比例する」という考え方で、19世紀フランスの哲学者、ポール・ジャンネが発案した法則だそうです。50歳にとっての1年は人生の1/50、5歳は1/5となります。このように年を取るにつれて自分の人生における「1年」の比率が小さくなるため、1年が短く時間が早く過ぎるようになるというのです。また、あるテレビ番組を見ていて、5歳のチコちゃんと言う子が「大人になったらアッという間に1年が過ぎるのは、トキメキがなくなったから」とも説明していました。時間の感じ方には心がどのくらい動いているかが重要だそうです。

先程、アッという間に1年が過ぎたと書きましたが、今年度の私は例年より少し長く感じたかもしれません。コロナ禍での体育祭や文化祭、夏の高校総体、冬の全国選抜大会などで生徒からトキメキを貰ったように思います。制限がある中で工夫を凝らして開催された学校行事、高校総体での生徒たちの補助役員として関わる姿、全国大会での部員たちの活躍などに心を動かされました。同じく保護者の皆さまも子供たちの様子を見て感動したことでしょう。本日の卒業式・修了式での感動は一際だったと思います。

私はこれからも高松南高校での生活をとおして、生徒や先生方、保護者の皆さまからトキメキを得たいと思います。「ぼーっとしてんじゃねーよ」と言われたいよう、そして保護者の皆さまには感動やトキメキにより感じる時間の長さが少しでも長くなるよう、精一杯学校運営に取り組んでまいりたいと思います。今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。



今年度の南高祭は、新型コロナ禍の中、文化祭の展示内容や来場者に制限を設けたうえで、「NEWERA!!!～更なる進化を遂げて～」のテーマのもと、9月9日（金）、10日（土）に開催されました。

野外展示では、「アーニャ」「たべっ子どうぶつ」の巨大壁画、「カービィ」や「ちいかわ」と「機関車トーマス」を組み合わせた「機関車トーマス」などのはりぼて、通路装飾などの各クラス工夫を凝らした展示が行われました。屋内展示では、感染対策を十分にとり、創意工夫を凝らした新感覚の「おけけ屋敷」や「チームラボ」、「縁日」「迷路」などがありました。専門学科の「看護科展」、「環境科学科展」、「生活デザイン科展」、「福祉科展」では、各学科の学習内容を知ることのできる良い機会となりました。昨年は実施できなかった3年生のバザーでは、各クラス共に感染対策を徹底して、「給食デザート」や「弁当」、「ポップコーン」「パン」「チュロス」

「からあげ＆たこ焼き」「ヤンニョムチキン&キンパ」などの他、外階段3階からギャラドスを設置した「ジュース」の販売などを行いました。各部活動においても、野外ステージでのパフォーマンス、作品展示、体験コーナーなどがあり、文化祭を盛大に盛り上げました。

新型コロナの影響で、多くの学校が様々な制限を設けています。本校においては、実施しないのではなく、どうすれば実施が可能かを考え、保護者の方々のご協力のもと、文化祭実行委員会を中心に開催することができました。

（南高祭担当 香西 佑弥）



第2学期クラスマッチ

令和4年度後期クラスマッチは、12月21日（水）、22日（木）に行われました。新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底した中で、熱戦を繰り広げました。2日目はあいにくの雨で、一部競技が変更されましたが、どのクラスも大変な盛り上がりを見せました。

各種目の優勝は以下の通りです。

ババ抜き優勝	3年8組、2年6組、1年5組
男子フットサル・	
バレーボール優勝	3年2組B、2年2組A、1年2組A
女子バレーボール優勝	3年6組A、2年6組A、1年7組A
男子ドッジ優勝	3年2組A、2年2組A、1年2組A
女子ドッジ優勝	3年7組A、2年7組A、1年3組A

（生徒会担当 田村美沙子）



2年生 沖縄修学旅行

1月24日～27日

修学旅行で特に印象に残ったのは南部戦跡のガマ入壕体験です。クラスごとに別々のガマに入り、私たちのクラスは糸数アブチラガマという全長270メートルの自然洞窟に入りました。入ってすぐに空気感が変わるのを感じました。ガイドの方の指示で懐中電灯の灯りを消した時、目を閉じた時と変わらないくらいに視界が真っ暗になり、とても恐怖を感じました。足元も悪く、真っ暗でうめき声が飛び交っている当時のガマでは、私なら歩くことすらままならないだろうなと思いました。私たちと年代のひめゆり学徒隊の子たちが、負傷兵の切断された手や足を、恐怖心すら忘れてしまうくらいに心がボロボロになりながら、何度も運んだということを感じました。いつ殺されるかわからない状況で、怪我をした人の看護をするのは本当に大変だっただろうし、重症者には自決用の青酸カリを渡し、軽症患者は何の治療も受けずに死を待つ悲惨な状況だったと知りました。この耐え難い状況を想像するだけでも恐ろしく目をそらしたい事実ですが、忘れてはいけない出来事でもあるので、戦争について今後も伝えていくべきだなと感じました。それと同時に二度と戦争はあってはならないと思いました。

アメリカンビレッジでは、香川県と違った雰囲気の中で皆それぞれ食事を楽しみ、美ら海水族館では大きなジンベイザメやイルカショーを見て楽しみました。



綺麗な海が見えるザ・ビーチタワー沖縄や、リゾート気分の味わえるオリエンタルホテル沖縄リゾート&スパでは私服で食事をし、ゆっくり過ごすことができました。4日間で、沖縄限定品や沖縄ならではの土産を沢山買うことができました。

天候の関係でマリンスポーツができなかったのが残念でしたが、皆と一緒に沖縄の自然環境や琉球文化に触れ、移動時間も賑やかに楽しむことができ、貴重で沢山の事が学べた修学旅行になり、とてもいい思い出になりました。

（修学旅行副委員長 2-6 安川 怜花）

運動部

令和4年度後半主な成績

●剣道部

国民体育大会四国ブロック大会 少年男子の部準優勝
香川県高等学校新人剣道大会 男子団体 準優勝
女子団体 準優勝

●水球部

香川県高等学校新人大会 優勝

●相撲部

香川県高等学校新人大会 個人の部 優勝

●バレーボール部女子

後藤杯香川県高等学校バレーボール大会 優勝

全日本バレーボール選手権大会 香川県予選 優勝
(全国大会出場ベスト8)

●バスケットボール部女子

全国高等学校バスケットボール選手権大会
香川予選 準優勝
(全国大会出場)

●ハンドボール部男子

香川県高等学校ハンドボール新人大会 3位

●ハンドボール部女子

香川県高等学校ハンドボール新人大会 3位

■バレーボール部

私たち女子バレーボール部は1月4日～9日に東京体育館で開催された全日本バレーボール高等学校選手権大会に出場しました。総体以降春高バレーに出場することを目標にあきらめず、全員バレーで練習を頑張ってきました。その結果ベスト8という成績を残すことができ、全力でバレーボールを楽しむことができました。全員で楽しむ南高バレーが続くようチーム一丸となって頑張ります。これからも温かい応援をよろしくお願いいたします。



■全国高等学校バスケットボール選手権大会に出場して

私たち女子バスケットボール部は、12月23日～29日に開催された第75回全国高等学校バスケットボール選手権大会に出場しました。3年生にとっては、高校生活最後の試合であり、チーム全員、全力で挑みました。しかし、全国の壁は高く、目標だった全国での1勝を果たすことはできませんでした。しかし、全員最後まであきらめず、笑顔でバスケットボールを楽しむことができました。これからは、次の目標に向かって頑張ります。今後とも温かい応援をよろしくお願いいたします。



文化部

●合唱部

香川県高等学校総合文化祭合唱部門「合唱の祭典」
奨励賞
(次年度全国大会推薦)

●書道部

高校生国際美術展（世界芸術文化振興協会主催）

佳作 3年 山内優里亜
2年 大下紗希帆
2年 澁谷 優菜

全国書道展（四国大学主催）

推薦賞 3年 板東 仁菜
特薦賞 3年 山内優里亜
2年 酒井 理帆

全国高等学校総合文化祭東京大会

県代表 3年 板東 仁菜

国際高校生選抜書展

入選 3年 山内優里亜
2年 澁谷 優菜

うどん県書道パフォーマンス大会 奨励賞

●吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール香川県大会 銀賞
全日本マーチングコンテスト香川県大会 銀賞
(県代表)

全日本マーチングコンテスト四国支部大会 銅賞

●美術部

南高祭ポスター原画制作 3年 田中 仁菜

●放送部

香川県高校放送コンテスト ラジオドラマ部門 3位
ラジオ番組 総合3位

各種検定 (数字は合格者数)

全商各種検定1級

ビジネス文書実務 7

簿記実務 3

ビジネス計算実務 20

商業経済 10

家庭科技術検定1級

被服製作 11

食物調理

12

保育検定

2

秘書技能検定2級

8

秘書技能検定準1級

1

測量士補

6

危険物乙種第1類

3

乙類第2類

3

乙種第4類

35

トレース技能検定3級

18

ガス溶接技能講習

6

小型車両系建設機械特別教育

22

2級土木施工管理士

12

硬筆検定1級

3

実用英語技能検定3級

7

準2級

21

2級

1

(令和5年2月現在)

学校評価(保護者アンケート調査)結果報告

本年度も学校評価の一貫として、3年生の保護者の皆様にアンケート調査をお願い致しました。①～⑥の質問項目について、「4. よく当てはまる」「3. やや当てはまる」「2. あまり当てはまらない」「1. 全く当てはまらない」の4段階で回答していただきました。下はその結果を集計したものです。

<質問項目>

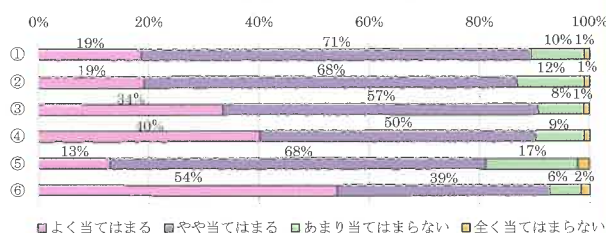
- ① 自ら学び自ら考え、責任のある行動がとれる人間を育てている
- ② さわやかなマナーと思いやりの心をもった人間を育てている
- ③ 各学科の特色を生かした学習活動を通して将来社会に貢献しようとする態度を養いつつ、自己の進路希望の実現に向けた意欲と力を育てている
- ④ 部活動や学校行事を盛んに行い、それぞれ成果を上げている
- ⑤ 交通安全対策やいじめ防止、また、教育相談対応など生徒が健康で安全に過ごせるようにしている
- ⑥ 子どもを3年間高松南高校に通わせて、良かったと思っている

質問項目①から⑥について、80%以上の保護者の方から「よく当てはまる」「やや当てはまる」という回答をいただき、良い評価をいただくことができました。自由記述では、「コロナ禍の中でも充実した学校生活を過ごすことができてよかった」「良い先生や友人との関わりの中で人として大きく成長できてよかった」「部活動を通して、継続する事や努力する事の大切さを学ぶことができた」といったようなご意見・ご感想が寄せられました。一方、本校教師の生徒との向き合い方や姿勢について改善を求めるご意見もいただきました。

また、学科別では、普通科は86%、「環境科学科」は81%、「生活デザイン科」は100%、「看護科」は94%、「福祉科」は100%の保護者の方から本校の取組(生徒の希望に沿った進路実現を目指した取組)に対して良い評価をいただきました。これからもご期待に応えられるよう、より一層努力して参りたいと思います。

本校の教育方針は「二十一世紀の担い手として、広く社会に貢献しようとする健全な徳性と優れた知性を持ち、主体的に判断し行動する創造性豊かでたくましい人間の育成を目指し、五つの学科と専攻科を置く総合制高校の特色を活かした教育を推進する。」です。今回いただいた貴重なご意見を参考に、今後とも全職員あげて教育活動に邁進して参りますので、これまで同様、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

3年生保護者アンケート結果



進路について (進路指導部)

今年度もまだコロナウイルスの影響が残っていますが、進路ガイダンスを3年ぶりに行うことができ、オープンキャンパスも行うことができる学校が増えました。コロナウイルスの影響が少しずつ少なくなってきましたが、インターネットを介したWeb情報にも頼る事もある程度ありました。

合格した人は、早い時期から情報を集めて、志望校を決め、過去問をもとにきめ細やかに対策をとっている人が多いです。不合格した人の中には、受験対策が遅れている場合もあると思います。進路に対する意識の差も、可否を分ける要因といえるでしょう。受験勉強はいつからスタートすればよいのでしょうか。当然、3年生になってから頑張るのではなく、1年生の時から自分の進路にむかって真摯に取り組んで下さい。

就職状況

今年度の就職予定者は48名。34名だった昨年度に較べると大幅に増えましたが、一昨年度までの人数に戻った、という感じですが、社会の経済状況はまだまだ「コロナ以前」には戻っていませんが、企業は様々な努力で回復を目指しています。「求人数」は香川県の全高校の中で常に上位5校に入っていて「コロナ」が始まった一昨年度、更には昨年度よりも今年度は増加し、ほぼ「コロナ以前」に戻りました。ここ10年の間に、高校卒業後すぐにできる仕事も増えました。「医療事務」「保育士」大手メーカーの「自動車整備士」など(まだまだ企業数は少ないですが)。進学後に就職するのが難しい企業でも、高校卒業後すぐに入社できるというケースもあります。ただ、進学しなければ就けない仕事もあります。一番大事なことは「どんな仕事をしてみたいか」です。「いつから働くか」ではありません。「やってみたい」と思える仕事を探して欲しいと思っています。

中国・四国地区高P連大会 (7月26日) に参加して

◇◇会長 菊川安史◇◇

愛媛県民文化会館にて笑媛(えひめ)から始まる絆づくり～無限の可能性を秘めた子どもと共に～をスローガンに開催された愛媛大会に参加しました。

開会行事の後、元サッカー日本代表監督岡田武史氏による『今治からの挑戦』と題した記念講演がありました。現在、株式会社今治、夢スポーツ株式会社の代表として物の豊かさより心の豊かさを大切にすると社会創りに貢献するという理念のもと、夢を熱く語り、人を惹きつける岡田氏の人柄に触れることができました。監督時代、選手全員のノートをつくり「この選手をこうしたい」「今日はこの声かけを、こういう練習を指示したい」など一人ひとりのことを真剣に考えノートに記していたというエピソードは子育てにも通じるところがあると思いました。続いて高校生による『高校魅力化の取り組み』の発表では、3年後学校の中に総工費24億円をかけ水族館をオープンさせるため、行政やコンサルタントと打ち合わせをしている愛媛県立長浜高等学校の生徒の活動が報告されました。その取り組みのスケールの大きさには圧倒されました。『地域連携に取り組むPTAの活動』の研究協議では、香川県立農業経営高等学校PTAから主基農経祭が地域との繋がりの潤滑油になっているとの発表がありました。

今大会はコロナ禍を経て3年ぶりの開催となりましたが大会を

通してそれぞれの学校や生徒・PTAの特色ある実践取り組みを知ることができ大変有意義なものとなりました。

大学・専門学校訪問研修会 (10月21・22日) に参加して

◇◇会長 菊川安史◇◇

香川県高P連主催により関西方面を中心に大学・専門学校訪問研修会が行われており、今回は立命館大学、龍谷大学、京都先端科学大学、京都デザイン専門学校を訪問しました。職員の方による現況説明のほか、学生によるキャンパス案内やトークショーが行われ、学生目線で各大学・専門学校の特色や魅力を語っていただきました。

- ・国内初自動貸出機能付きゲートがある蔵書数100万冊の図書館(立命館)
- ・創立400周年、来年度心理学部開設(龍谷)
- ・国際社会人としての基礎力を磨く大学(京都先端科学)
- ・併設大学への3年次編入制度・充実した就職サポート(京都芸術デザイン)
- ・就職活動で問われるのは学歴ではなく学習歴(立命館職員談)
- ・資格や語学力より目的を持って何かをやりきった経験を積むことが大事(立命館職員談)
- ・一般教養と専門分野両方を学ぶ大学に対し専門分野を集中的に学べる専門学校(京都芸術デザイン職員談)

第2回PTA理事会

今年度2度目のPTA理事会が、1月23日(月)に、本部役員・クラス理事18名の出席のもと、開催されました。令和4年度PTA事業及び会計の中間報告等が承認されました。また、現況報告では、学校評価の概要、進路指導部、人権・同和教育部、生活指導部、教育相談部、保健指導部の5つの分掌からの報告、また、3年学年主任からは、本年度の卒業記念品の説明がありました。



《編集後記》日頃よりPTA活動にご協力頂きありがとうございます。高松南高校PTAだより第55号が完成しました。南高生の学校行事での活動や部活動での活躍を記事にしてあります。本号では、3年生の保護者限定でしたが、久しぶりに公開された文化祭や2学期末のクラスマッチ、2年生の沖縄修学旅行の記事などを掲載しています。ぜひお読みください。また、生徒が参加した行事がある毎にホームページが更新されていますので、ぜひ一度ご覧ください

■南高校ホームページ <https://www.kagawa-edu.jp/minamh02/>